

事業の名称等	あついぞ！熊谷 くま辛プロジェクト
--------	-------------------

- 熊谷市内に固定店舗を構える飲食および食品販売店が、地場野菜を使用した独自の辛口メニューを考案し来店客に提供することで、市外からも人を呼べる街づくりをめざすもの。

- ## 6. 経緯・経過
- 熊谷俱樂部が「食」の地域活性化策「星川屋台」に続いて、「食」ととどまらない熊谷のシティ・ブランドづくりを検討する中で、「HOT」をテーマに企画した一大プロジェクト。

8. この事業の実施による特記事項・PRポイント
- 「辛いもの」は発汗による気化熱効果により「冷たいもの」以上に清涼効果があり、かつ夏場の食欲増進作用もあることは医学的に立証済。日本一暑い「HOT」な街の街おこしとしてはこれ以上のものはなく、官民一体での熊谷市の知名度アップと集客をめざします。

- B級ではない本格的な「食」の街おこし（熊谷はもともと宿場町が発祥のA級シティ）

連絡先 TEL 048-598-8091(青山カレー工房)

あついぞ！熊谷「くま辛プロジェクト」について（参考資料）

1. 趣旨

「くま辛プロジェクト」は、“日本一暑い街”熊谷を「HOT」をキーワードとして外から人を呼べる街づくりをめざす永続的なプロジェクトです。

「食」にとどまらない地域活性化と、熊谷のシティ・ブランドづくりをめざします。

2. 経緯

昨年「星川屋台」を復活させた飲食店経営者による「食」の地域活性化団体「熊谷倶楽部」が企画した、「食」にとどまらない官民一体での街の活性化プロジェクト。

熊谷市の全面的バックアップをいただき、本年の夏スタートの一大プロジェクトとして動き出しました。

3. 主催・後援団体

主催：熊谷倶楽部（くま辛実行委員会） 代表：坂本公一

後援：熊谷市、熊谷市観光協会、熊谷市社交飲食組合、熊谷市商店街連合会 他

※ シンボル・キャラクターとして、「あつべえ」の使用許可をいただいております。

4. プロジェクト概要

- 参加飲食店がそれぞれ「地場産野菜を使用した辛口（HOT）メニュー」を登録し、原則“HOT”を象徴する土鍋で提供します。
- 1店舗で複数メニューの提供も可。独自メニューの考案が難しい店舗用に、協賛食品メーカー考案の見本メニュー（約15種類）を用意、レシピを公開する。

＝ なぜ「辛口メニュー」か？ ＝

「辛い」は英語で「あつい」と同じ「HOT」であること。辛い食べ物による発汗作用の気化熱効果は、冷たい食べ物よりも数段清涼作用があると医学的に実証済みかつ、辛い物は内臓を刺激し夏場の食欲増進効果もあるという暑い熊谷にピッタリなことに着目しました。

5. プロジェクト展開

- 富岡市長出席による「プロジェクト・キックオフ兼共通メニュー試食会」を、5月17日（木）に開催（記者クラブ加盟各社様へは別途ご案内いたします）
- 5月20日（日）開催の「星川屋台」にて、市民向けメニュー発表会開催
- 6月17日（日） 各店メニュー提供開始（父の日＝“アチチの日”スタート）
- 7月うちわ祭りにて、参加店舗によるグルメイベントを実施（詳細未定）
- その他継続的にイベントやキャンペーンを企画し、永続的街おこしプロジェクトとして熊谷市の新しいブランドづくりを盛り上げてまいります。

■現在参加表明店約50店舗。引き続き参加店を募集中です。

参加希望店舗の申し込み・照会先：熊谷倶楽部事務局 TEL048-521-6091

以上

★取材・お問い合わせ：熊谷倶楽部広報 大関TEL048-598-8091(青山カレー工房)